

第 105 回記念二科展京都巡回展

2021 年 12 月 7 日 (火) から 12 月 12 日 (日) 京都市京セラ美術館

● 絵画部、彫刻部

今回の京都巡回展は、昨年コロナの影響で順延となりましたので、京都市京セラ美術館が改修されて、久しぶりに本館での展示となりました。4 部門の展示作品総数は 279 点で、絵画 125 点、彫刻 12 点、デザイン 62 点、写真 82 点の作品が並びました。絵画部は全国巡回の会員、受賞者、関西支部会員、京滋の会員、会友、一般の方の作品 125 点 (全国巡回 58 点、地元 67 点)、彫刻部は 12 点 (全国巡回 6 点、地元 6 点) の作品が展示されました。

前回までは別館の狭い空間での開催のため、全国巡回の作品を多く展示出来ませんでしたでしたが、今回絵画部はなるべく多く展示したく、近年の会員推挙の方も展示させて頂きました。改修された本館もそれほど広い会場ではないので、少し窮屈な展示となりましたが、彫刻との融合展示も、外光の入る本館ならではの落ち着いた空間で、作品を鑑賞することが出来たように思います。

絵画部の京滋関係の受賞者は、東京都知事賞に石橋国夫、会友賞に木村信子、第 105 回記念賞に橋本則子、会友推挙に島崎紗椰、小南治次、野田喜美代の各氏が受賞され、京滋支部としての今後の活動が期待される展覧会となりました。今回はコロナの感染対策を考慮して、ギャラリートーク、コンサートなどのイベントは自粛いたしました。会期中は天気にも恵まれ、連日多くの来場者がありました。入場者総数は 3,811 人で前回より少し減少しましたが、コロナの影響がまだ心配な状況のなか、盛況のうちに終了いたしました。

● デザイン部

第 105 回展は、久しぶりに京都市京セラ美術館に戻っての展覧会になった。全国巡回展作品 59 点と京・滋関係の 3 点の 62 点展示。自由テーマ・ポスターや特別課題「COOL CHOICE」をテーマにしたポスターを中心にイラストやフリースタイルの小型作品で各部門バラエティーに富んだ力作が並んだ。来年 2 月に再会される関西二科展に向けて、各自構想を練っているところです。

● 写真部

今年はコロナ禍の影響で 2 年遅れの第 105 回二科展京都巡回展第 68 回写真部展を、新装となった京都市京セラ美術館で開催できましたことは喜ばしいことでした。しかし何時ものように京都新聞賞とトークがないというのは、コロナ禍の下とは言え寂しい限りでした。そして、与えられた壁面の都合で 82 点の展示になってしまいました。理事長作品を始め二科賞を含む三賞、入賞者、京滋会員・会友、支部員入選者作品となりましたが、メーカー賞の一部と奨励賞のほとんどが展示できなかったことは残念でした。単の 3 段展示という知恵があったのかと思いますが、ここはご覧いただく方の立場に立てば、二段展示で良かったと確信しました。写真は当たり前のことですが、作者が「何を考え、何を伝えたいのか」を表現したものです。ご覧いただくお客様に語り掛けている事になります。展示の方法もご覧いただくお客様の立場に立って考えなければと思いました。コロナ禍の下でも三千数百人のお客様に来ていただき感謝しています。次回への励みとなりました。ご一緒しました四部門京滋支部の皆さんに感謝の意を申し上げます。

